

こんにちは 山田耕平 です

2014.2.20 No.145

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
http://yamadakohei.jp



保護者の切実な実態を告発 一般質問 保育待機児童の解消に向けて



多くの保護者が区役所前で保育園増設を訴えた。



今年も約1800名が入園不承諾… 緊急対策と認可保育所の増設を

二月十七日(月)、杉並区議会第一回定例会で一般質問しました。

この間、社会問題となっている保育待機児童問題について、保育園に入園出来なかった保護者の切実な実態を議会でご告発し、認可保育所の増設と緊急対策の拡充を求めました。

今年四月の認可保育所への入園申請状況は、増加の一途を辿っています。女性の社会進出の本格化と日本経済の低迷による世帯の経済状態の悪化等が背景にあります。昨年と同様、約一八〇〇人の児童が認可保育園に入園出来ず、深刻な事態が発生しています。

**まだ取り組は不十分
実態への認識不足も…**

質問では、具体的な緊急対策と公有地を活用した認可保育所増設等を求めましたが、区の答弁は緊急性への理解が弱く、今年度内の新たな補正予算の編成についても答弁を避けるなど、不十分な姿勢でした。

「保育園に入れてほしい！」 保護者が区役所前で集会

17日(月)のお昼には、区役所前で待機児童保護者による集会も行なわれました。この間、日本社会に待機児童問題を発信してきた「保育園ふやし隊@杉並」による呼びかけで、大勢の保護者、区民が参加しました。多くのマスコミも駆け付け、複数のメディアにも取り上げられました。



保護者による切実なスピーチが行なわれた。

保護者の実態については裏面参照

また、区長答弁では、認可保育所と認可外保育所の保育料格差への理解が全くない発言がされるなど、実態への認識不足が露呈しました。

※認可保育所保育料は、各家庭の所得に合わせて設定され負担が小さくなっている。しかし、認可外保育所は、場所により月十万円を超える施設がある等、施設ごとに料金体系が異なり、行政の保育料助成があったとしても、保護者にとっては大きな負担となる。

みなさんの傍聴へのご参加 ありがとうございました

入園不承諾通知を受けた保護者は、これから再び厳しい保活を開始することになります。

今議会での緊急対策が必要であり、引き続き、区行政に対し、保育待機児童の解消に向けた取り組みを求めます。

赤ちゃん連れの保護者も含めた、大勢のみなさんの傍聴へのご参加、本当にありがとうございました。
質問全文はホームページに掲載

質問で取り上げた事例を紹介します（質問全文は、ホームページをご覧ください）

保育待機児童の保護者の深刻な実態と思い

持ち家だけど、引っ越しも考えています

4年前から西永福駅周辺に住んでいます。昨年、第一子を出産し、現在育休中です。西永福駅周辺で保育園を探しましたが、保育園の数自体が少なく、申し込みの時点で選択肢が少な過ぎました。

来年度から復職予定でしたが、不承諾となりました。最終選考でも望みが薄く、途方にくれています。

認可外保育園でも入れれば良かった。見通しが甘かったと言われればそれまでですが…。

現在は、持ち家ですが、引っ越しを考えています。短い間でも、コミュニティが出来ており、来年度に向けて一年間、保活を頑張るか、悩んでいます。

保育所を増やして欲しいと心から思っています。

自営業者には厳しい現実…

個人事業主としてスタジオを経営しています。

経営といっても、食べていくのは大変な状況ですが、それでも家族を持ちながら細く、長く、働いていける場であり、産前まで働いてきました。

「自営業」は、預け先がない場合、同伴して仕事をしていると言わざるを得なくなってしまう、保育指数の減点対象となります。

今回、予想通り4月の認可保育園入園は全滅の結果となりました。14日の選考結果の通知を見たときは、お先真っ暗になり、涙が出ました。

実際、子どもを同伴して、産前と同じくらい働けるかといったら、不可能です。仕事の効率も落ち、当然、収入も減ります。

しかし、認可外保育所は、費用も高く、預けられる状況にありません。自営業は、収入の見通しが非常に立ちにくいいため、大きなリスクを負うことはできないからです。

認可保育園が増えれば、問題も解決するため認可保育園を増やしてほしい。まだ子どもは1人ですが、2人目を欲しいと思っています。しかし、現在の状況では厳しいです。

保育士なのに…職場復帰が出来ない

杉並区内の認可保育所に勤務している保育士です。入園不承諾の通知を受けました…。周りの知合いが、入園の内定通知を受けるなか、自分だけ取り残されたようで、涙が止まりませんでした。

杉並区の保育園が足りていない状況も理解しています。早く復帰しなければいけないと感じてきました。保育定員増のためにも、保育士が職場に戻る必要がある時です。

しかし、保育士である自分が不承諾になり、この先、どうして保育園を増やすことが出来るのか、大きな疑問を感じます。

安心して子どもを預けられる認可保育所を増やして、多くの児童が入園出来るようにしてほしい。

保育料は月額10万5千円…片道40分

父親はスタッフ1名を抱える建築系デザイン事務所の事業主。朝は9時頃に家を出て、夜は終電か間に合わない場合はタクシー、もしくは週1回以上徹夜作業や地方への出張。

母親は育休中で、学校教材の会社で企画。中小企業であるため、常に人員が不足している状況です。

保育指数は両親ともにフルタイムの40点です。

杉並区に引っ越してきて3年目です。以前は目黒区に住んでいたのですが、子育てに優しい環境であると聞き、杉並区に引っ越してきました。

不承諾通知を受けた時は、今までの保活を思い出し、泣きました。

妊娠中からできるだけ、情報を集め、臨月から、出産後は子どもを抱いて、数十軒の保育園をまわりました。妊婦にとって妊娠中から、月齢の低い子どもを抱え、体力的にも精神的にも大変な時に、保活をすることがどんなに孤独でつらいことか…。とても不安な日々でした。

入園ができなくなり深刻です。認証保育所など認可外保育所は、杉並区の他に、近隣や職場の近くなどを当たりましたが、どこも、キャンセル待ちが100人近くと絶望的です。

一園だけ、職場近くの認可外保育園の入園の確約はもらうことができました。保育料が月額10万5千円、通園に片道40分かかります。保育料は手取り給料の約半額。できるだけ早く認可保育園に転園したいと考えています。

「保育園のことなどを気にせず、元気で丈夫な子を産むことをいつも考えていたかった。この思いは、私だけではないはず。杉並区の今の住環境が気に入っています。このままだと保育園を理由に引っ越しせざるを得ない可能性もあります。」

【望めば保育園に誰でも入れる環境づくり】杉並区に望む事は、この一言に尽きます。

育メン日誌

同じ苦悩を抱える保護者として

待機児童問題は、共働きの保護者の誰もが経験することです。我が家も例外では、ありません。

ある保護者は言いました。「辛い思いをしている保護者の気持ちは痛いほど分かる。他の保護者の気持ちは考えると、自分だけ入れたから終わりにはできない」。全く同じ気持ちです。



かつて、私たちの先輩は「ポストの数ほど保育所を」を合言葉に、保育所の増設を実現しました。

今度は、私たち次の世代が保護者の共同を広げ、保育所を増設する番です。

保護者の不安、悩み、苦しみ…
今こそ『政治の力』が必要

ここで紹介した事例はほんの一部です。
1800の家庭が同様の苦悩を抱えています。